



報道関係者各位

一般社団法人エンドオブライフ・ケア協会

地域で暮らす一人ひとりの尊厳を守り、支え合う地域づくりのために

「エンドオブライフ・ケア協会」と「ワーカーズコープ」が協定を締結します

調印式(特別講演込)取材のお願い 10月5日(水)17時30分~19時

一般社団法人エンドオブライフ・ケア協会(本社:東京都港区、代表理事:小澤 竹俊、以下「エンドオブライフ・ケア協会」)は、2022年10月5日、日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会センター事業団(本社:東京都豊島区、理事長:田中 羊子、以下「ワーカーズコープ」)と、誰一人取り残されず、尊厳を持って暮らせる地域づくりと人材育成に関わる協定を締結いたします。

日本の社会は人口減少時代を迎えました。人と人とのつながりが希薄化し、貧困、孤独・孤立、社会的排除などの社会課題が叫ばれるようになりました。日本は世界的な長寿の国になりましたが、つながりが感じられないなかでの長寿は、幸せ(Well-being)と実感できるとは限りません。

ワーカーズコープとエンドオブライフ・ケア協会が協力し合うことで、それぞれが育んできた「協同労働」と「ユニバーサル・ホスピスマインド」(*)をもとに、生きていくなかでさまざまな理由で困難にある人たちと、地域で新しい出会いやともに「働くこと」を通して、生まれてから人生の最期を迎えるときまで、生きていてよかったと思える人生を送ることができる社会を目指しています。

それぞれの地域で、両者の組合員(会員)同士が出会い、学び合い、さらに多くの市民とつながり、みんなのおうちづくり(*2)を通じて、互いの思いや夢を共に実らせていく中で、「協同の力」を大切に、ともにまちづくりに取り組んでいくことを願って、10月1日「労働者協同組合法(*3)」の施行に合わせて協定書を結びます。

調印式では、全国の組合員(会員)が参加し、また、愛媛や鹿児島など各地の活動について紹介する予定です。また、今後の活動に向けて、エンドオブライフ・ケア協会 代表理事 小澤竹俊の講演を予定しております。

ぜひ、調印式のご取材を賜りたく、お手数ではございますが、10月3日(月)17時までに下記お問い合わせ先へメール送信、もしくは、お申込みフォームにご入力いただけますと幸いです。

【10月5日の取材スケジュール】

時 間	内 容
17:00~17:30	開場:ワーカーズコープ池袋本部 8F 会議室(東京都豊島区東池袋1丁目44-3)/オンライン(Zoom)
17:30~17:45	ご挨拶(ワーカーズコープ理事長 田中羊子)
17:45~17:50	出会いからこの間の取り組み(ワーカーズコープ専務理事 馬場幹夫)
17:50~18:30	調印式特別講演(エンドオブライフ・ケア協会代表理事 小澤竹俊)
18:30~18:45	各地の取り組み・今後に向けて(鹿児島・愛媛など各地から)
18:45~18:50	調印式
18:50~19:00	まとめ(ワーカーズコープ特別相談役 永戸祐三)

【本件に関するお問い合わせ】

一般社団法人エンドオブライフ・ケア協会 事務局
東京都港区虎ノ門3-17-1 TOKYUREIT 虎ノ門ビル6F

Tel: 03-6435-6404 Fax: 03-6735-4579 E-mail: info@endoflifecare.or.jp

お申込みフォーム: <https://forms.gle/2TUbDnQmtXoF9bdFA>



小澤 竹俊(おざわ たけとし)

一般社団法人エンドオブライフ・ケア協会代表理事、めぐみ在宅クリニック院長

1963年東京生まれ。世の中で一番、苦しんでいる人のために働きたいと願い、医師を志し、1987年東京慈恵会医科大学医学部医学科卒業。1991年山形大学大学院医学研究科医学専攻博士課程修了。救命救急センター、農村医療に従事した後、1994年より横浜甕生病院 内科・ホスピス勤務、1996年にはホスピス病棟長となる。2006年めぐみ在宅クリニックを開院、院長として現在に至る。「自分がホスピスで学んだことを伝えたい」との思いから、2000年より学校を中心に「いのちの授業」を展開。2013年より、人生の最終段階に対応できる人材育成プロジェクトを開始し、多死時代にむけた人材育成に取り組んでいる。

田中 羊子(たなか ようこ)

日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会 センター事業団 理事長

北海道育ち。人の地域づくりに直接かかわる仕事をしたいと、労働者協同組合運動に飛び込み36年。高齢者・市民と一緒に公共サービスへの挑戦に取り組む。東京事業本部長などを歴任。3・11後の2011年7月にワーカーズコープが設立した東北復興本部本部長。

2017年度から日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会センター事業団理事長。

(※1)ユニバーサル・ホスピスマインド

限られたいのちの現場(ホスピス)で培われてきた「不条理、理不尽、絶望などで苦しむ人への誠実な関わり方」は、ホスピスマインドとして、看取りの現場で実践されてきました。従来、ホスピスは、一部の人が一部のみにしか行えない専門的なケアとされてきました。この関わりを、0歳から100歳まで誰もが、ユニバーサルなものとして、大切な人や自分のこころの問題に向き合えるように、エンドオブライフ・ケア協会は「ユニバーサル・ホスピスマインド」と称し、教育プログラムを展開しています。

(※2)みんなのおうち

「みんなのおうち」は、あそこにいけば何とかなる地域の困りごとや願い、一人ひとりのやってみたいことなど様々な思いを持ち寄り、「協同労働」という働き方で、みんなでカタチにしていく居場所として、ワーカーズコープが全国各地で展開している協同総合福祉拠点です。

(※3)労働者協同組合法

労働者協同組合(ワーカーズコープ)は、働く人がみんなで出資し、一人ひとりの意見を反映して運営を行い、よい仕事や地域づくりをめざして活動しています。一人ひとりが主人公となり、利用者や住民と手をつなぎ、互いの力を生かし合う「協同労働」の働き方が、この困難な時代に本当に必要との認識が広がり、2020年12月4日、コロナ禍で全党全会派一致のもと成立しました。その施行を2022年10月1日に迎えます。

【本件に関するお問い合わせ】

一般社団法人エンドオブライフ・ケア協会 事務局
東京都港区虎ノ門3-17-1 TOKYUREIT 虎ノ門ビル6F

Tel: 03-6435-6404 Fax: 03-6735-4579 E-mail: info@endoflifecare.or.jp

お申込みフォーム: <https://forms.gle/2TUbDnQmtXoF9bdFA>